

みんな

よくなれ

令和六年十二月十日発行

29 回生通信
第 46 号

私失敗しないので

三組担任 本岡 柚希 先生

このタイトルは、今月新しく映画が全国ロードショーされることで話題を集めている『ドクターX』という作品の中で、女優の米倉涼子さんが演じる大門未知子の決め台詞です。もともと、人気シリーズもののテレビドラマです。この作品の主人公である大門未知子は、手術が得意な女医で、どんなに難しい手術も見事な手裁きで成功させる人物です。難しい手術に向かう前に、周囲から「そんな手術は無謀だ!」と言われても、「私、失敗しないので。」と一言返して手術に臨むのです。そして、絶対に失敗することはありません。このドラマはフィクションですが、私はこれを見るたびに、カッコいいなあと思ってしまいます。

さて、私はこのドラマが大好きですが、宣伝がしたかったわけではありません。手術で患者さんに実際にメスを入れるのは、どんなにベテランの医師でもその都度緊張することだと思えます。そんな中で、絶対に失敗しないという自信はどこからくるのでしょうか？私は、これまでの積み重ねからくるものだと思います。このドラマの主人公大門未知子は、これまでの人生の中で、人並み以上に国内外での手術や症例を経験し、多くを学んだという描写がありました。大門未知子に限らず、何かをしようとするとき、絶対に失敗しないという自信は、自分のこれまでの経験でしか生まれません。私にはありません。そしてこれは、皆さんにも当てはまることだと思っています。これからの受験を控える人たちのほとんどは、「失敗したらどうしよう!」と不安に思っているはずですが、実際、私は普段の皆さんとの会話の中で、この子たちは自信がないのだろうかと感じることがよくあります。今は自信がなくても、不安でも大丈夫です。でもそこで今の目標を諦めてしまわずに、自分に自信をつけられるのは自分しかいないのだから、じたばたせず目の前の勉強に集中しましょう。ひたすらに経験を積むのです。効率のいい勉強法なんて、探しているだけ時間の無駄です。受験までの残された時間は有限です。その中でできる最大限を尽くすことで、少しでも自信をつけることができます。受験前に「私、失敗しないので。」とまでは言えなくても、少しはそこに近づけると思います。皆さんが、受験の日自信を持って当日を迎えられることを願っています。あと少し、頑張りましょう!

初めての選挙

十月二十七日に、衆議院選挙の投票が行われました。29 回生の約六割が、新たに選挙権を持つことになりました。その八割以上の人が選挙に行きました。このことは、特筆すべきことです。十代の投票率として、全国平均の倍近い人が投票をしたのです。選挙への関心の高さが分かります。社会に自ら積極的に働きかけようとする姿勢の表れでもあります。

29 回生のみなさんは、将来きつと社会をより良くするために行動を起こす人になるはず。市会議員や県会議員、はたまた国会議員にとどまらず、世界で活躍する人が、皆さんの中から現れると期待します。アンケートに書いてくれた全員の感想を掲載します。

一組の感想

朝、六時二十分くらいから投票所に行って、投票箱に何も入っていないかを確認するゼロ票確認ができて良い経験になった。次はもう少し省エネで一番乗りをしたと思う。

投票所は重々しい空気が流れているのかと思っていたが、運営に携わっていた人はすごく優しく笑顔で対応してくれて、すごく気軽に行けるものだなと思った。投票結果を見ても、僅差で当選している人も多かった。今後の日本のためにも、自分の一票を投じる大切さをもっと若者が考える必要があると思う。また、結果を見て、「この数字のうち一票は自分か!」と思うと、テンションが上がった。

事前に調べていたのと、衆議院はすぐに投票し終えたけど、裁判官のことを知らなかった。今度開票速報をTVで見たことなかったけれど、初めて見ました。

自分の意見を政治に反映する大切な機会だと改めて感じた。政治の情報に触れるようにして、この先も選挙には必ず行くようにしたい。

両親と祖母と一緒にいきました。両親と選挙の話をしたのは初めてでした。政党など詳しくないけれど、新聞などを見て調べました。政治のことはまだなかなかなかめなれないと思いましたが、初投票です。事前に自分の選挙区の議員さんを調べていたので、自分の入りたい党や議員さんを入れることができて良かったです。でも、最高裁判所の裁判官の情報をもっと調べておくべきだったと思いました。

自分の一票がしっかりと入ったこと、不安はなくなった。厳かな雰囲気でも少し緊張した。いろいろな政党を調べて行った。楽しかった!

難しかった。どの政党に投票すればいいのか分からなかった。どの政党に投票して、誰に投票すればいいのか分からなかった。

二組の感想

今まで親がしているのを見ていたが、いざ自分がするとなると情報が多く、どの情報も信じられないか分からなくて難しかった。ただ、自分で決めて投票したこと、より政治への興味が増したように感じた。

簡単な本人確認しか行われず、不正を防げるのか疑問だった。ネット投票やマイナンバーカードの紐づけなどしてほしいと思った。

衆議院選挙の立会人の人たちが仲よさそうにニコニコしていた。

選挙に行くのは初めてだったので少し緊張しました。今までは公園などに候補者のポスターが貼ってあったので、何も気にしなかったけれど、今年からは選挙権があったので、少し調べてみました。国民になれた気がしました。

期日前投票をしました。お母さんが各政党の概要や最高裁判事の信任不信任の背景(一度も除名されていないことなど)を教えてくれたおかげで、きちんと自分の意志を持って投票できました。思っていた三倍くらいスムーズに投票が終わって驚きました。投票率が低いのが残念です。

事前に政党の公約などを見ていたのですが、投票できたけれど、裁判官の投票はよくわからなかった。

選挙権があるのに行かないのはもったいないと思います。それは「選挙権がないよ!」って言うてるのと一緒だと思ってる。選挙にすら行っていないのに「〇〇がどう」などと文句を言う人にはなりたくないです。白紙でもいいので出すことに意味があると思います。

自分も大人の仲間入りをしたような気がして嬉しかったです。また、どの情報も信じたらよいのか分からず、投票する人を決めるのが難しかったです。

私は今回の選挙で事前に調べておく重要性を感じました。政党についてよく分らない状態で行ったので、次回からは自分の支持する政党を決めてよく調べてから行きたいです。

若者の投票率が少ないので、選挙は面倒くさいものかと思っていたけれど、実際に行くのと五分もかからず、すぐに終わらすことができた。でも、政治に関する知識が乏しかったので、どこに投票すればいいのか分からなかったです。これからは政治に興味を持っていききたい。

思っていたより投票するのは難しくなかった。政治の仕組みが理解できな。

三組の感想

公約とか政治の仕組みは難しいからよくわからないことも多いけれど、それをわかりやすくまとめたサイトとか、AI 診断を使ったり、自分も分かった気になって胸を張って選挙に行きた。若い人のためのいろんな政策もあったし、投票率を上げる取り組みもあったから、これからは選挙に行こうと思ったし、社会への関心を高めて、次行くときはもっと賢くなりたいと思った。

大人の仲間になれたような気がした。年齢は成人していたけれど、あまり実感がなかった。今回、選挙に行き投票したこと、大人なんだなと思った。

どこの人が良いのかあまりわからなかった。けれど、政治に協力することができたと思うと嬉しかった。

選挙に行く前に各政党のホームページを見たり、ネットの世論調査を見たりしたことで、政治への関心が深まりました。正直、受験生には荷が重いなと思いましたが、社会の一員として、これから生きていくための大きな一歩になったように感じました。実際に行ったら、最高裁の信任・不信任の投票があることを知らなくて困りました。

下調べの重要性を改めて感じました。

初めて選挙権を持った選挙だったので気になり、家族と投票に行きました。次はもっと知識を入れていきたいと思いました。

行く前にはポスターの人を投票するだけだと思っていたけれど、実際に行ってみると、三つも投票があったびっくりしました。

大人の仲間入りをした感じが良かった。政治に関わって、もう無関係ではないなと感じました。

自分ももう有権者だと感じた。自分の投票だけでは変わらないかもしれないが。

私は今まで政治に興味を持ったことはあまりなかったのですが、今回初めて選挙に行き、いろいろな政党がそれぞれの政策を立てて日本をより良くしようとする思いが伝わってきました。来年の参議院選挙までに、少しずつでも政治について知っていかたいと思います。

期日前投票で、投票する人の方が多いように思えた。期日前投票はそういう意味で、取り入れて良かった制度だと思える。国民審査については、選挙とは違って、過去の裁判などを公的な機関によって明確にまもられていないように感じた。

ほぼ知識なしで行ったので、どの党に入れたらいいのか分からなかった。なので次はある程度知識をつけて行きたい。

自分一人の一票で国が良い方にも悪い方にも転ぶかもしれないと思うと、責任を感じて緊張しました。投票する前に「候補者の公約を読んでみると、この意見は賛成できるな」「これは反対かな」と社会について考えることができ、私が何を大切にしているかが分かるいい機会になりました。

選挙に行き結構緊張した。学校の選挙とは大きく違った。

○どの紙をどの箱に出したらいいか分からなかった時、周りにいた職員（？）の人が優しく教えてくれた。助かった。いっぱいの人に目をつけられながら投票するのはちょっと怖かった。次は期日前投票ができればいいなと思った。

○淡々とした雰囲気、特に投票についての説明がなかったことで少し緊張した。もう少し政党などについて、調べてから行こうと感じた。

○どの人にすればいいのか、どの党が何をしているのか、正直あまりよく分からなかったです。次はしっかりと調べてから投票しようと思いました。

四組の感想

○初めての選挙で不安や緊張があったけれど、役員の方がいろいろ教えてくれて、スムーズにできてありがたかったです。また裁判員のやつは、その人がどんな判決を下したか知らないのに、「×」とか書くことで、その裁判員を辞めさせることができる権利を持っているのが少し不思議で、次からはちゃんとその人について調べてから行こうと思いました。

○自分も選挙に行くことになったので、ネットでどの党が何を言っているのかなどを確認してから行きました。選挙に行っている人が少ないので、もっと多くの人が選挙に行ったら、政治に関心を持つたらいいなと思いました。

○投票所にたくさん人がいて、本当に国民一人一人の意見が反映されているんだなと思った。今まであまり関係ないと思っていたけど、今回投票に行ったら、開いた情報を持っていく人ほど投票しやすかった。

○投票するにあたり、情報を持っていく人ほど投票しやすかった。最高裁の国民審査ではその人がどんな人なのか知らなくて、少し考える必要があった。

○まだ知識があまりない状態だったけど、大人になった感じがしました。

○人が少なすぎて分からないことは係の人に聞けたので、期日前投票をして良かったと思います。若者の投票率が低い理由が分かりません。

○県知事選の投票も楽しみでした。自分の考えに合わない人はいないか、自分の中で一番まともだと思う人に投票した方が良かったと思う。自分が投票し、日本の政治に参加するという事実が大事だと思います。

五組の感想

○選挙は親に行っていたことがあるので、見るのは初めてではなかったが、実際に初めて投票するのは緊張した。投票するときに、仕切りが小さくて、背が高い人だと横から覗けてしまったり、鉛筆だからいくらでも書きかえられたりしてしまったり、改善するべきことはたくさんあると感じた。

○身分証明書などがなくても投票できることに驚いた。なりすまし投票されてもおかしくないと思った。ニュースでの速報が今までより他人事ではなくて面白く思えた。

○自分の一票が政治に反映されるのかもしれないと思うと、わくわくしました。意外とすぐに終わるのでびっくりしました。

○思っていたよりも簡単であっさり終わったけれど、やって良かったと思う。

○わりと淡々と終わった。そこまで面倒でもなかった。これからもある程度責任をもって投票に行くようにしたい。

○国民として投票するのは当然だから。

○各政党の公約をしっかりと読むのは初めて面白かった。

○期日前投票に行った。期日前にかかわらず、投票場所には、厳肅な空気が漂っていた。期日前にかかわらず、書き間違いをしたのに、消しゴムが用意されていなかったのは少し不便に感じた。

○これまでずっと親に「選挙行くけどすぐ終わるからちよつと待ってよ」と言われていたから、他人事だったが、初めて一緒に行って大人の仲間入りを果たしたなと思った。

○教科書で見たような感じで、鉛筆がとがっていて、他の方は書くのが私よりも早くてびっくりした。どうやってバーコードを読み込んで自動で紙が出てくるのかが一番不思議でした。

○投票する紙に字が書きやすかった。同じ略称の政党が二つあって驚いた。

○初めての選挙でわくわくして、自分も投票した立場で家族との会話に入れたことがすごくうれしかったです。翌日のニュースでもすごく興味をもって見ることができました。次の選挙にも参加したいです。

○権利を持っていると実感した。もっと政治に関心を持つべきだと思います。

○思ったより簡単だった。インターネットであれば、もっと投票率が増えるのかなと思った。

○選挙の前日に情報を集めるのではなく、平日頃から政治にもっと関心を持つておけば良かったと感じた。

○身分証明書も、はがきもなしで投票所に行ったが、名前を名乗るだけで投票用紙を受け取れてしまった。これでは安全性に不安があるので、私の町の投票所はもう少し本人確認をしっかりとやるべきではないかと感じた。

○略称が民主党である政党が二つあったので、投票用紙に民主党と書くかどうか悩まされるのか気になり役員の人に聞いてみたところ、二つの政党に按分されるのだそう。それでいいのか？と思うが、略称は選挙運営が決めるものではなく、党が指定するものらしいので、自称民主党の二党がそう言い張るならそれでいいのかもしれないが他の党に投票した。

○あまり時間がからなくてすぐ終わった。

○実際に自分が成人したと実感した。自分も政治に参加していると感じて大人になったと感じた。

○「いよいよ十八歳で成人になったんだ！」と実感しました。もうちょっと早く行って投票箱開きを見てみたかったなと少し思ったので、県知事選挙はチャレンジしようと思います。

○もっと事前に選挙区の候補者のマニフェストをしっかり理解していくべきだと思います。候補者に関する情報も、現在ではインターネットを用いて各々で各裁判官の行った判決を調べることができるので、何も知らないで行くより調べてから行くべきだったなと感じます。

まだ選挙権がなかった人の感想

○もし選挙権があったら行ってました！行けた人は大人！って感じですか？良くて羨ましいです。来年の参議院議員選挙は皆と一緒にいきたいです。

○誕生日が来たら選挙に行きます。

○自分たちの生活にも関わると思うので行く。

○自分が投票したいと思う人がいれば行く。

○選挙がどう感じるのか知りたいので、行ってみたいと思います。

○選挙権があったら行きたいと思う。一票を入れることがとても大切だと思います。

○初めは行くかもしれないが、年々行かなくなりそう。面倒くさくなりそう。

○中学校の先生の「選挙に行け！」と言われたので、絶対に行く。もし行かなくてあと一票の差とかで老人のための政策を掲げた党の人が当選したらもったいないから。政治はよく分からないけど、まともな人を自分で選びたい。

○選挙権があれば選挙に行ってみようと思う。

○行きたいです。大学を卒業して働き始めたら自分も本格的に税金を納めたいといけません。少しでも税が軽くなったらいいなと思います。

○行く。日本に住んでいる以上、権利を行使しないのは損だから。

○今は選挙権がないけれど、来年からは積極的に参加したい。

○十八歳になったから投票に行きたい。

○選挙権がなかったら投票に行きたい。あまり今回の選挙について知らない。もうすぐ、自分も選挙に関われるようになるんだと思った。

○選挙権がなくて行けませんでした。テレビを見ていて与党と野党で衆議院の半分を野党が占めていたの、政権が交代するって、すごい大きなことなんだなと思いました。未来の自分の生活が苦しくならないように所得税と年金の増加だけはやめてください。(※アンケートの段階では次の首相は与野党どちらになるか未定でした。)

○今回は選挙権がなくて行けませんでした。テレビで見ていると、投票している人が多いとは言えない中、しっかりと当落の結果が出ていて、この一票で日本の未来が変わるんだなと考えさせられました。

○投票できるようにしたら、僕はしっかりと投票に行きたい。若者向けの政治をして欲しいなと投票したい。

○選挙権があったら、僕はしっかりと調べてから投票に行きます。

○選挙に行ってみようと思います。

○投票に必ず行こうと思います。

○選挙について調べる時間や余裕があり、投票したいと思つたところがあれば行きます。

○行ってみたいと思います。

○選挙権ができたなら選挙に行きます。投票を面倒くさいとは思わず、日本を良くしてくれる人に投票したいです。

○誕生日が三月と遅いので、今回は投票に行くことができなかったです。投票権があれば、もちろん選挙に行きます。国民の意見を反映することができる大切な機会だからです。

○絶対に行く。国の動きや政策に非常に興味がある。

○行く。若者の意見を反映させるという意味でも、与えられた権利は積極的に行使するべきだと思います。

選挙権はあったけれど選挙に行かなかった人の感想

○シンプルに面倒くさかった。立候補している人もよく分からない。分からないのに投票してもって思った。

○一日中塾にいたので、行く暇がなかった。

○行ける時間がなかったから。

○忙しかったから。

○寮にいたので行けなかった。

○受験勉強をしていた。未来よりも今にフォーカスしていた。

○時間がなくて行けなかった。

○塾に行っていて、選挙に行けなかった。

○勉強していた。親も仕事だったから。

○受験勉強で忙しいから。

今後の行事予定 (3年生関連)		
12月		
12日 (木)	第4回定期考査 最終日	
	寮大掃除・寮生集会	～24日
16日 (月)	3年生午年中授業	～24日
	三者面談	
23日 (月)	特別推薦合格者保護者説明会	
24日 (火)	全校集会	
25日 (水)	冬季休業開始	
1月		
6日 (月)	共通テスト演習	
7日 (火)	〃	
8日 (水)	大掃除・LHR	
13日 (月)	成人の日	
17日 (金)	4限 共通テスト受験者集会	
18日 (土)	共通テスト	
19日 (日)	〃	
20日 (月)	共通テスト自己採点	
	寮生を送る会	
22日 (水)	大掃除・ワックスがけ	
23日 (木)	中学入試会場準備	
	16時完全下校	
24日 (金)	中学入試・生徒登校禁止	
25日 (土)	〃	
26日 (日)	国立出願の三者面談	
27日 (月)	3年生自主登校	
	国立大学出願開始	
	～2月5日まで	
	国立出願の三者面談	